

# 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会

2010 年 9 月 9 日

## 報告資料

### 看護系大学におけるモデル・コア・カリキュラム導入に関する調査研究班

#### 組織

野嶋佐由美	高知女子大学看護学部看護学科
中山洋子	福島県立医科大学看護学部看護学科
横尾京子	広島大学大学院保健学研究科
高橋真理	北里大学看護学部看護学科
小西美智子	岐阜県立看護大学看護学部看護学科
宮崎美砂子	千葉大学看護学部看護学科
片田範子	兵庫県立大学看護学部看護学科
太田喜久子	慶應義塾大学看護医療学部
井上智子	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科
小山真理子	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科
佐藤エキ子	聖路加国際病院 副院長・看護部長

#### 協力者

宮武陽子	高知女子大学看護学部看護学科
池添志乃	高知女子大学看護学部看護学科

## 現在作成中のモデル・コア・カリキュラムの基盤となる「看護実践能力・卒業時の到達目標・教育の内容・学習成果」調査に関する進捗状況の報告

本調査は、文部科学省「平成 21 年度 先導的・大学改革推進委託事業」の委託研究「看護系大学におけるモデル・コア・カリキュラム導入に関する調査研究」の一部であり、日本看護系大学協議会高等教育行政対策委員会の活動でもあります。

“モデル・コア・カリキュラム”の導入に際して、看護学士課程における保健師、助産師、看護師に共通する基盤となる看護実践能力・卒業時到達目標・教育の内容を抽出するための調査を行った。

第一次ヒアリング調査 日本看護系大学協議会の加盟校、参加希望のあった 35 校  
(2010 年 2 月 20-22 日検討会)

第二次書面調査 第一ヒアリング対象校に再度書面による調査、21 校の参加  
(2010 年 4 月)

第三次書面調査 日本看護系大学協議会の全会員校を対象  
(2010 年 5 月 20 日～6 月 14 日 )  
124 校の参加

第四次書面調査 日本看護系大学協議会の全会員校を対象  
(2010 年 8 月 25 日締め切り )  
121 校の参加

モデル・コア・カリキュラムでは、以下のような基本的な考えに基づいて、看護学士課程を修了する学生が習得すべき必要不可欠な、コアとなる看護教育を示すことを目指している。すなわち、モデル・コア・カリキュラムは、看護師・保健師・助産師のすべてに共通する能力を中心として構成している。また、各能力を育成する教育の内容を例示するとともに、卒業時の到達目標も提示している。看護実践を構成する 5 つの要素と、そのコアとなる 20 能力、卒業時の到達目標、教育の内容、学習成果を示している (別添 1)

モデル・コア・カリキュラムは、看護学士課程を修了する看護学生が展開する看護実践に焦点化したものであり、その看護実践は常に「ヒューマンケア」「根拠に基づく看護」「特定の健康課題に対応する看護」「看護ケアの改善とチーム医療づくり」「専門職としての研鑽」が不可分に統合されて実践されることが必要である。また、これらの看護実践能力は学士力を基盤として、さらに看護学の知識と技術を融合し統合させることによって可能となる。

教育にあたっては、統合された看護実践を目指しつつ、看護実践を構成する上記の要素を実現可能とする能力を育成するのであり、これらの能力の習得の順序性や優先性を表しているわけではない。統合体としての看護実践を教授するためには、従来の教育方法や教育組織では限界があり、教育方法を開発し、教育組織を変革していく必要があり、さらに調査を進めていく計画である。

### 1) 各大学が独自の教育理念や目的に応じて教育課程を編成し、かつ社会に対して必要不可欠な看護実践にかかわる教育の質を保証することを可能とする。

本調査で示している能力や教育内容を、どの科目で、どの程度の時間数や単位数で履修し、またどのような授業形態で教授するかは、各大学の責任において教育理念に基づき決定すべきものである。すなわち、各大学がその教育理念や特色に基づいたカリキュラムを作成する。また、看護学学士課程を卒業する学生の実践能力を中心として、必要不可欠な看護実践能力に焦点を当てて概念化していることが特徴である。

### 2) 平成 16 年度の基本的な考え方や前提を踏襲しつつ、社会や医療、看護の変化に対応するために変更する。

「看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標」（看護学教育の在り方に関する検討会報告）には、看護教育の前提として以下の点が記載されている。

1. 保健師・助産師・看護師に共通した看護学の基礎を教授する課程であること
2. 看護生涯学習の出発点となる基礎能力を培う課程であること
3. 創造的に開発しながら行う看護実践を学ぶ課程であること
4. 人間関係形成過程を伴う体験学習が中核となる課程であること
5. 教養教育が基盤に位置づけられた課程であること

なお、別添 2 に平成 16 年看護学教育の在り方に関する検討会にて報告された看護実践能力と、本研究班が提示している看護実践能力とを対比して示している。

文部科学省：大学における看護実践能力の育成の充実に向けて（看護学教育の在り方に関する検討会報告），2002（平成 14 年 3 月 26 日）

文部科学省：看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標（看護学教育の在り方に関する検討会報告），2004（平成 16 年 3 月 26 日）

### 3) 看護の国際的な動向、今後の社会や医療、看護の変化に対応可能なコアとなる看護実践能力を中心として構成する。

American Association of College of Nursing（米国看護大学協会）：The Essentials of Baccalaureate Education for Professional Nursing Practice（2008）。教育の質の評価の枠組みに活用されている「The Essentials of Baccalaureate Education for Professional Nursing Practice」の考えを取り入れることにした。

### 4) 看護学士課程卒業者の看護実践の要件

現在、以下の要件について検討中である。

1. 個人—家族—集団—地域を対象とする看護実践
2. あらゆる年代の人々に対する看護実践
3. 多様な場で、継続的なケアを提供できる看護実践
4. 健康—疾患の連続性を踏まえての看護実践
5. ヘルスプロモーションや予防を促進する看護実践

看護学士課程におけるコアとなる看護実践能力を基盤とした教育

平成 22 年 9 月 9 日

看護実践能力		卒業時の到達目標	教育の内容	学習成果
群	能力			
I ヒューマンケアの基本に関する実践能力	1) 看護の対象の尊厳と権利を擁護する能力	<p>(1) 人間や健康を総合的に捉え説明できる。</p> <p>(2) 多様な価値観・信条や生活背景を持つ人を尊重する行動をとることができる。</p> <p>(3) 人間の尊厳及び人権の意味を理解し、擁護に向けた行動をとることができる。</p>	<input type="checkbox"/> 人間の捉え方 <input type="checkbox"/> 健康の捉え方 <input type="checkbox"/> ライフサイクルと健康 <input type="checkbox"/> 社会と健康 <input type="checkbox"/> 文化と健康 <input type="checkbox"/> 基本的人権の尊重 <input type="checkbox"/> 看護実践に関わる倫理の原則 <input type="checkbox"/> 患者の権利 <input type="checkbox"/> 権利擁護 <input type="checkbox"/> プライバシーへの配慮 <input type="checkbox"/> 個人情報の保護 <input type="checkbox"/> 看護職の倫理規定	<input type="checkbox"/> 看護の対象である人間について総合的に捉え説明できる。 <input type="checkbox"/> 人間のライフサイクルと発達について説明できる。 <input type="checkbox"/> 健康・不健康の連続性を踏まえて、健康を総合的に捉え説明できる。 <input type="checkbox"/> 社会と健康、文化と健康の関連を踏まえて、健康を総合的に捉え説明できる。 <input type="checkbox"/> 多様な価値観や人生観を有している看護の対象を尊重する行動をとることができる。 <input type="checkbox"/> 基本的人権の尊重、患者の権利及び権利擁護について説明できる。 <input type="checkbox"/> 患者の権利、プライバシーや情報の保護に配慮した看護の在り方を説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護職の倫理規定や看護実践に関わる倫理の原則を遵守することの必要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象の権利を尊重し、その擁護に向けた行動をとることができる。
	2) 実施する看護について説明し同意を得る能力	<p>(1) 実施する看護の方法について、看護の対象に合わせた説明ができる。</p> <p>(2) 看護の実施にあたり、看護の対象の意思決定を支援することができる。</p>	<input type="checkbox"/> 医療における自己決定権 <input type="checkbox"/> 看護職の説明責任 <input type="checkbox"/> 意思決定への支援 <input type="checkbox"/> インフォームド・コンセント <input type="checkbox"/> セカンド・オピニオン	<input type="checkbox"/> 医療における自己決定権と看護職の説明責任について説明できる。 <input type="checkbox"/> インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンについて説明できる。 <input type="checkbox"/> 実施する治療や看護に関する選択権について説明できる。 <input type="checkbox"/> 実施する看護を説明する方法とその意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象が意思決定するために必要な情報を提供することができる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象の意思決定を指導のもとで支援することができる。 <input type="checkbox"/> 実施する看護について説明できる。
	3) 援助関係を形成する能力	<p>(1) 看護の対象と援助的なコミュニケーションを展開できる。</p> <p>(2) 看護の対象と援助関係を形成できる。</p> <p>(3) 看護の対象となる集団との協働的な関係の在り方について説明できる。</p>	<input type="checkbox"/> 自己分析、自己理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーションの原則と技術 <input type="checkbox"/> 対人関係、相互作用 <input type="checkbox"/> 援助関係の過程 <input type="checkbox"/> カウンセリングの基本と技術 <input type="checkbox"/> 治療的コミュニケーション <input type="checkbox"/> ケアリングの考え方 <input type="checkbox"/> 集団形成の過程 <input type="checkbox"/> リーダーシップ、メンバーシップ <input type="checkbox"/> グループダイナミクス <input type="checkbox"/> グループ支援	<input type="checkbox"/> 自己を分析し自己理解できる。 <input type="checkbox"/> コミュニケーション、治療的コミュニケーションについて説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象と適切な援助的コミュニケーションをとることができる。 <input type="checkbox"/> プロセスレコードなどを活用して、援助関係を分析できる。 <input type="checkbox"/> カウンセリングの基本的な方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 援助関係におけるケアリングの考え方について説明できる。 <input type="checkbox"/> 援助関係形成の過程を理解し、援助関係を形成できる。 <input type="checkbox"/> リーダーシップ、メンバーシップの考え方について説明できる。 <input type="checkbox"/> 集団の構造と機能、グループダイナミクスについて説明できる。 <input type="checkbox"/> グループを形成する方法とそれを支援する方法について説明できる。

看護実践能力		卒業時の到達目標	教育の内容	学習成果
群	能力			
Ⅱ 根拠に基づき看護を計画的に展開する実践能力	4) 根拠に基づいた看護を提供する能力	<p>(1) 根拠に基づいた看護を提供するための情報を探索し活用できる。</p> <p>(2) 看護実践において、理論的知識や先行研究の成果を探索し活用できる。</p>	<input type="checkbox"/> エビデンス <input type="checkbox"/> エビデンスに基づいた実践の在り方 <input type="checkbox"/> 情報の収集・情報提供システムとその活用 <input type="checkbox"/> 文献の検索方法 <input type="checkbox"/> 文献の批判的検討 <input type="checkbox"/> 基本的な研究方法 <input type="checkbox"/> 基本的な統計的分析方法 <input type="checkbox"/> 研究成果の解釈と活用 <input type="checkbox"/> 基本的な疫学・保健統計の知識 <input type="checkbox"/> 看護理論、看護研究、看護実践の関係	<input type="checkbox"/> 根拠に基づいた看護を提供することの必要性を説明できる。 <input type="checkbox"/> 根拠に基づいた看護を提供するための情報を探索し、活用できる。 <input type="checkbox"/> 文献や研究成果を比較し、批判的に吟味することができる。 <input type="checkbox"/> 基本的な看護研究方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 健康現象を説明するために基本的な疫学や保健統計を活用できる。 <input type="checkbox"/> 主要な看護理論について説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護を展開する際に、理論や概念を活用する意義と方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護に必要な根拠を探索し、看護実践に活用できる。
	5) 計画的に看護を展開する能力	<p>(1) 批判的思考や分析的方法を活用して、計画的に看護計画を立案できる。</p> <p>(2) 問題解決法を活用し、看護計画を立案し展開できる。</p> <p>(3) 実施した看護実践を評価し、記録できる。</p>	<input type="checkbox"/> 批判的思考、分析的思考、論理的思考 <input type="checkbox"/> 問題解決の過程 <input type="checkbox"/> 看護過程（アセスメント、診断、計画、実施、評価） <input type="checkbox"/> 看護観察とモニタリングの目的と方法 <input type="checkbox"/> 健康に対する人間の反応と看護診断 <input type="checkbox"/> 看護情報の活用と管理 <input type="checkbox"/> 記録の目的と法的意義 <input type="checkbox"/> 記録の監査と評価	<input type="checkbox"/> 看護の現象を批判的思考、論理的思考を活用して捉え説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象が直面している課題を問題解決的思考で捉え説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護過程について理解し、実践に活用できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象に必要な情報を探索し、看護活動に活用できる。 <input type="checkbox"/> 看護提供の方法を考案し、その中から適切な方法を選択できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象に必要なケアを計画し、指導のもとで実施できる。 <input type="checkbox"/> 実施した看護実践を評価することができる。 <input type="checkbox"/> 看護記録の目的と法的意義について説明できる。

<p>6) 健康レベルを成長発達に応じてアセスメントする能力</p>	<p>(1) 身体的な健康状態をアセスメントできる。</p> <p>(2) 認知や感情、心理的な健康状態をアセスメントできる。</p> <p>(3) 環境をアセスメントし、健康状態との関係を説明できる。</p> <p>(4) 成長発達に応じた身体的な変化、認知や感情、心理社会的変化を理解したうえで、看護の対象の健康状態をアセスメントできる。</p>	<p><input type="checkbox"/>連続体としての健康</p> <p><input type="checkbox"/>人体の構造 (解剖学)</p> <p><input type="checkbox"/>人体の機能 (生理学)</p> <p><input type="checkbox"/>病態と生体反応 (病理学)</p> <p><input type="checkbox"/>疾病学・診断学</p> <p><input type="checkbox"/>人体の防御システム</p> <p><input type="checkbox"/>疾病と生体の反応 (呼吸機能障害、循環機能障害、栄養摂取・代謝障害、咀嚼嚥下・消化吸収障害、内部環境調節・生体防御機能障害、脳神経・感覚機能障害、運動機能障害、排泄機能障害、性・生殖機能障害)</p> <p><input type="checkbox"/>栄養と代謝</p> <p><input type="checkbox"/>精神の機能と健康</p> <p><input type="checkbox"/>人間の欲求と感情</p> <p><input type="checkbox"/>生涯発達と健康課題</p> <p><input type="checkbox"/>性と生殖に関する健康課題</p> <p><input type="checkbox"/>フィジカル・アセスメント</p> <p><input type="checkbox"/>心理社会的アセスメント</p> <p><input type="checkbox"/>人的・物理的環境のアセスメント</p>	<p><input type="checkbox"/>看護に必要な人体の構造と機能について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>看護に必要な病態について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>看護に必要な人体の防御システムについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>主要な疾病の症状、病因、病態、治療、予後について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>疾病がもたらす機能障害について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>看護に必要な栄養と代謝について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>精神の機能・認知・感情のアセスメントの方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>フィジカル・アセスメントの方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>心理社会的アセスメントの方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>人的・物理的環境が健康に及ぼす影響について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>社会資源をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>環境のアセスメントの方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>看護の対象の成長発達を踏まえて、指導のもとでフィジカル・アセスメント、心理社会的アセスメント、環境のアセスメントができる。</p>
<p>7) 個人と家族の生活をアセスメントする能力</p>	<p>(1) 個人の生活を把握し、健康状態との関連をアセスメントできる。</p> <p>(2) 家族の生活を把握し、家族員の健康状態との関連をアセスメントできる。</p>	<p><input type="checkbox"/>生活の質</p> <p><input type="checkbox"/>生活と健康</p> <p><input type="checkbox"/>生活と疾病</p> <p><input type="checkbox"/>セルフケア能力</p> <p><input type="checkbox"/>家族機能</p> <p><input type="checkbox"/>家族の生活と健康</p> <p><input type="checkbox"/>家族の生活と疾病</p> <p><input type="checkbox"/>家族のセルフケア能力</p> <p><input type="checkbox"/>家族と地域社会の関係性</p>	<p><input type="checkbox"/>看護の対象を生活している人として捉える意義とその方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>生活と健康障害の関連、疾病・障害が生活に及ぼす影響について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>日常生活、療養生活をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>家族の生活と健康障害との関連、疾病・障害が家族生活に及ぼす影響について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>家族全体を捉えてアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>家族と地域社会とのつながりや関係性をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>学校生活、職業生活、社会生活をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>日常生活、社会生活、家族の生活について、指導のもとでアセスメントできる。</p>

<p><b>8) 地域の特性と健康課題をアセスメントする能力</b></p>	<p>(1) 地域の特性や社会資源に関する資料・健康指標を活用して、地域の健康課題を把握する方法について説明できる。</p> <p>(2) 学校や職場などの健康課題を把握する方法について説明できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>地域の歴史・文化と生活</p> <p><input type="checkbox"/>地域の環境</p> <p><input type="checkbox"/>地域の社会経済構造</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療福祉制度</p> <p><input type="checkbox"/>公衆衛生の概念</p> <p><input type="checkbox"/>地域の健康課題</p> <p><input type="checkbox"/>健康指標の動向（人口動態・疾病構造・受療状況他）</p> <p><input type="checkbox"/>地域の健康に関する情報（母子保健、精神保健、感染症、生活習慣病、がん、難病他）</p> <p><input type="checkbox"/>地域の人々の健康ニーズ</p> <p><input type="checkbox"/>保健行動・疾病対処行動</p> <p><input type="checkbox"/>学校保健</p> <p><input type="checkbox"/>産業保健</p> <p><input type="checkbox"/>社会資源の種類と生活上の問題</p>	<p><input type="checkbox"/>地域の人々の生活、地域の文化、地域の環境、地域の社会経済構造を把握し、地域の特性を捉える方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の人々の健康ニーズや保健行動を捉える方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の保健医療福祉制度、地域の健康に関する情報、健康指標の動向を理解し、地域の健康課題を導く方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>健康診査・診断の結果から健康課題を把握し、健康管理をする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>学校の特性や健康課題を把握する方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>職場の特性や健康課題を把握する方法について説明できる。</p>
<p><b>9) 看護援助技術を適切に実施する能力</b></p>	<p>(1) 身体に働きかける看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p>(2) 情動・認知・行動に働きかける看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p>(3) 人的・物理的環境に働きかける看護援助技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>日常生活援助技術（食事、睡眠、排泄、活動、清潔）</p> <p><input type="checkbox"/>呼吸・循環を整える技術</p> <p><input type="checkbox"/>創傷管理技術</p> <p><input type="checkbox"/>与薬の技術</p> <p><input type="checkbox"/>救命救急処置技術</p> <p><input type="checkbox"/>症状・生体機能管理技術</p> <p><input type="checkbox"/>安楽の技術</p> <p><input type="checkbox"/>感染予防の技術</p> <p><input type="checkbox"/>安全・事故防止の技術</p> <p><input type="checkbox"/>日常生活習慣の確立に関わる援助技術・セルフケア向上の援助技術</p> <p><input type="checkbox"/>自立支援の援助技術</p> <p><input type="checkbox"/>療養に関する相談</p> <p><input type="checkbox"/>健康に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/>行動変容を促進する技術</p> <p><input type="checkbox"/>危機介入</p> <p><input type="checkbox"/>人的・物理的環境調整の技術</p> <p><input type="checkbox"/>社会資源の活用</p>	<p><input type="checkbox"/>日常生活援助の基本技術（食事、睡眠、排泄、活動、清潔）を理解し実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>呼吸・循環を整える基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>創傷管理の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>与薬の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>救命救急処置の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>症状・生体機能管理の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>安楽を援助する基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>感染予防の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>安全・事故防止の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>日常生活行動の拡大や生活習慣の確立に向けた援助の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>自立支援に向けた援助の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>健康に関する教育、患者教育・家族教育の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>療養生活や健康に関する相談の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>行動変容を促進する援助の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>不安定な感情や情緒を安定させる基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>環境整備や環境調整の基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>生活環境を改善するための基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p> <p><input type="checkbox"/>活用できる社会資源を調整する基本技術を理解し、指導のもとで実施できる。</p>

看護実践能力		卒業時の到達目標	教育の内容	学習成果
群	能力			
Ⅲ	10) 健康の保持増進と疾病を予防する能力	<p>(1) 健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p>(2) 人の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p>(3) 妊娠・出産・育児にかかわる看護援助方法について説明できる。</p> <p>(4) 個人特性及び地域特性に対応した健康環境づくりについて説明できる。</p> <p>(5) 健康増進に関連する政策と保健活動について説明できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>ヘルスプロモーション</p> <p><input type="checkbox"/>第一次予防、第二次予防、第三次予防</p> <p><input type="checkbox"/>プライマリーヘルスケア</p> <p><input type="checkbox"/>健康診査と健康教育</p> <p><input type="checkbox"/>妊娠・分娩・産褥の生理</p> <p><input type="checkbox"/>妊婦（ハイリスクを含む）・産婦・褥婦への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/>胎児・新生児・乳幼児の生理</p> <p><input type="checkbox"/>新生児・乳幼児と家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/>各発達段階の特徴と生活及び健康課題</p> <p><input type="checkbox"/>各発達段階の特徴に応じた看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/>児童期・学童期・思春期にある子どもと家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/>次世代育成に向けた取り組み</p> <p><input type="checkbox"/>成人期における健康増進、疾病予防に向けた取り組み</p> <p><input type="checkbox"/>加齢に伴う健康課題を抱えた高齢者と家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/>個人・家族・地域のメンタルヘルスの促進</p> <p><input type="checkbox"/>健康に影響する環境と社会的要因の改善</p> <p><input type="checkbox"/>健康課題に対する地域の組織的な取り組み</p> <p><input type="checkbox"/>個人・家族・集団への健康教育・相談</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療福祉計画と看護活動</p>	<p><input type="checkbox"/>ヘルスプロモーションの考え方について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>第一次予防、第二次予防、第三次予防の考え方とその方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>プライマリーヘルスケアの考え方とその活動について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>健康診査とその結果に基づいた健康教育の方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>妊娠・分娩・産褥の生理、胎児・新生児・乳幼児の生理について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>妊婦・産婦・褥婦に対する看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>新生児・乳幼児と家族の健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>児童期・学童期・思春期の健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>成人期の健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>加齢に伴う健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の次世代の健康づくりへの取り組みについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>個人・家族・地域のメンタルヘルスを促進する取り組みについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>健康に対する考えやニーズを把握し、健康課題の解決に必要な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>保健行動、疾病・治療行動を改善するための看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の健康的な環境を構築するための組織的な取り組みについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>健康課題の解決に向けた国や自治体の取り組みについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の保健医療福祉計画について理解し、その中で看護職者が担うべき活動・役割について説明できる。</p>

<p>11) 急激な健康破綻と回復過程にある看護の対象を援助する能力</p>	<p>(1) 急激な健康破綻をきたした患者の全身状態をアセスメントし、生命維持に向けた看護援助方法について説明できる。</p> <p>(2) 急激な健康破綻をきたした患者と家族を理解し、回復に向けた看護援助方法について説明できる。</p> <p>(3) 精神的危機状況にある患者の状態をアセスメントし、回復に向けた看護援助方法について説明できる。</p> <p>(4) 必要な早期リハビリテーションを計画し、促進する看護援助方法について説明できる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 急激な健康破綻をきたした患者の苦痛・不安</p> <p><input type="checkbox"/> 疾病の診断、検査</p> <p><input type="checkbox"/> 診療に伴う援助技術</p> <p><input type="checkbox"/> 異常の早期発見とアセスメント</p> <p><input type="checkbox"/> 治療法（救命救急、手術療法、薬物療法、放射線療法、精神療法）の種類と効果</p> <p><input type="checkbox"/> 治療を受けている患者への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 救命救急時の処置</p> <p><input type="checkbox"/> 化学療法、放射線療法を受けている患者への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤な状態にある患者と家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 手術・麻酔による生体反応、合併症の発症と予防</p> <p><input type="checkbox"/> 周手術期にある患者と家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 精神機能が著しい低下により混乱状態にある患者と家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 精神的危機状態にある患者と家族への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 早期回復を促す看護援助方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 診療、診断と検査に関する基本的な方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 治療法（救命救急、手術療法、薬物療法、放射線療法、精神療法）の種類と期待される効果について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 治療を受けている患者に対する基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤な状態にある患者の疾患・病態・症状について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤な状態にある患者に対する治療法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤な状態にある患者の全身状態をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤な状態にある患者を全人的に捉えて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 重篤な状態にある患者と家族への基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 手術・麻酔による生体反応、合併症の発症と予防について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 周手術期にある患者の全身状態をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 周手術期にある患者と家族への基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 薬物療法を受けている患者と家族に対する看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 精神機能が著しく低下している患者の精神状態をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 精神機能が著しく低下している患者に対する治療法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 精神機能が著しく低下している患者と家族への基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 心身の回復過程と回復を促す治療や早期リハビリテーションについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 心身の回復過程にある患者を総合的に理解し、アセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 心身の回復過程にある患者と家族への基本的な看護援助方法について説明できる。</p>
<p>12) 慢性疾患及び慢性的な健康課題を有する看護の対象を援助する能力</p>	<p>(1) 慢性的な健康課題を有する患者と家族の状態をアセスメントし、疾病管理に向けた看護援助方法について説明できる。</p> <p>(2) 慢性的な健康課題を有する患者と家族を理解し、療養生活の看護援助方法について説明できる。</p> <p>(3) 慢性的な健康課題を有する患者と家族が地域で生活できるように、社会資源の活用方法について説明できる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 慢性疾患の病態と症状</p> <p><input type="checkbox"/> 疾病の診断、検査</p> <p><input type="checkbox"/> 診療に伴う援助技術</p> <p><input type="checkbox"/> 合併症の予防と早期発見</p> <p><input type="checkbox"/> 悪化・進行の予防</p> <p><input type="checkbox"/> 治療法（薬物療法、放射線療法、精神療法、リハビリテーション）の種類と効果</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性疾患が生活に及ぼす影響</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性疾患がライフサイクルに及ぼす影響</p> <p><input type="checkbox"/> 自己管理への看護援助方法</p> <p><input type="checkbox"/> 症状マネジメント、疾病管理</p> <p><input type="checkbox"/> コンプライアンス、アドヒアランス</p> <p><input type="checkbox"/> セルフケア行動の獲得・維持</p> <p><input type="checkbox"/> ストレスコーピング</p> <p><input type="checkbox"/> 患者教育・家族教育</p> <p><input type="checkbox"/> 障害を持って生きること</p> <p><input type="checkbox"/> サバイバーへの支援</p> <p><input type="checkbox"/> 発達障害</p>	<p><input type="checkbox"/> 主要な慢性疾患の病態とその合併症について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性的な健康課題を有する患者への診療に伴う援助技術について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性的な健康課題を有する患者への治療と効果について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 薬物療法を受けている患者と家族への基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 自己管理、症状マネジメント、疾病管理、コンプライアンス、アドヒアランスについて説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性的な健康課題がライフサイクルや生活に及ぼす影響を理解し、障害を持って生きることを患者と家族の立場で捉え説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性的な健康課題を有する患者の全身状態を、アセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 日常生活、セルフケア能力をアセスメントする方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 慢性的な健康課題を有する患者と家族への基本的な看護援助方法を説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活の再構築、適応を促進する基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ストレスコーピングを促進する基本的な看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 患者教育・家族教育の方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域生活を支援するために、ノーマライゼーション、ソーシャルサポートが重要であることを説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域生活を支援するために、患者会や家族会が担う役割について説明できる。</p>

			<input type="checkbox"/> リハビリテーション・機能障害の改善 <input type="checkbox"/> ノーマライゼーション、ソーシャルサポート、社会資源 <input type="checkbox"/> 慢性状態にある患者の家族への援助 <input type="checkbox"/> 患者会、家族会	<input type="checkbox"/> 地域生活を支援するために、ソーシャルサポートの獲得と療養生活の確立に向けての基本的な看護援助方法について説明できる。
13) 終末期にある看護の対象を援助する能力	<p>(1) 終末期にある患者を総合的・全人的に理解し、その人らしさを支える看護援助方法について説明できる。</p> <p>(2) 終末期での治療を理解し、苦痛の緩和方法について説明できる。</p> <p>(3) 看取りをする家族の援助について説明できる。</p>	<input type="checkbox"/> 終末期にある人の心身の苦痛 <input type="checkbox"/> 緩和ケア <input type="checkbox"/> 身体機能低下への看護援助方法 <input type="checkbox"/> 終末期の症状緩和 <input type="checkbox"/> 疼痛コントロール <input type="checkbox"/> 安楽の提供 <input type="checkbox"/> 死の受容過程 <input type="checkbox"/> 悲嘆と受容 <input type="checkbox"/> スピリチュアルケア <input type="checkbox"/> 看取る家族への援助 <input type="checkbox"/> 終末期におけるチーム医療 <input type="checkbox"/> 在宅での看取りのための体制づくり <input type="checkbox"/> グリーフワーク	<input type="checkbox"/> 終末期の症状緩和、疼痛コントロール、緩和ケアについて説明できる。 <input type="checkbox"/> 終末期にある患者の心身の苦痛と看護援助方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 身体機能低下をアセスメントし、それに適した安楽を提供する方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 終末期におけるチーム医療の在り方について説明できる。 <input type="checkbox"/> 死の受容過程を理解した上で、その人と家族に適した関わりを行うことの必要性について説明できる。 <input type="checkbox"/> 生きること、死にゆくことの意味とその過程について説明できる。 <input type="checkbox"/> 最期までその人らしさを支援することの必要性について説明できる。 <input type="checkbox"/> 死にゆく人の意思を支え、その人らしくあることを援助する方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 看取る家族の体験について理解し、看護援助方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 在宅での看取りのための体制づくりについて説明できる。 <input type="checkbox"/> 家族の悲嘆過程、グリーフワークについて説明できる。	

看護実践能力		卒業時の到達目標	教育の内容	学習成果
群	能力			
IV ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力	14) 保健医療福祉における看護機能と看護ケアを改善する能力	<p>(1) 保健医療福祉における看護の機能と看護活動の在り方について理解できる。</p> <p>(2) 看護の質の管理及び改善への取り組みについて理解できる。</p>	<input type="checkbox"/> 保健医療福祉制度と法律 <input type="checkbox"/> 看護の機能 <input type="checkbox"/> 組織論 <input type="checkbox"/> 看護の組織 <input type="checkbox"/> 看護体制 <input type="checkbox"/> 看護ケアのマネジメント <input type="checkbox"/> 看護と経営 <input type="checkbox"/> 情報管理システム <input type="checkbox"/> 看護の質評価 <input type="checkbox"/> 看護の費用対効果 <input type="checkbox"/> 看護活動のPDCA サイクル	<input type="checkbox"/> 保健医療福祉における看護の役割について説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療機関における看護の組織、看護体制、看護の機能について説明できる。 <input type="checkbox"/> 組織の中での役割分担、権限委譲の在り方について理解できる。 <input type="checkbox"/> 保健医療福祉の中での情報管理システムについて理解できる。 <input type="checkbox"/> 看護の質を評価する必要性とその方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 看護管理における費用対効果の重要性について理解できる。 <input type="checkbox"/> 看護活動をPDCA サイクルを用いて改善する意義と方法について理解できる。
	15) 地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力	<p>(1) 自主グループの育成、地域組織活動の促進について理解できる。</p> <p>(2) 個人・グループ・機関と連携して、地域ケアを構築する方法について理解できる。</p> <p>(3) 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。</p>	<input type="checkbox"/> 地域ケアに関わる医療政策 <input type="checkbox"/> 集団の形成・発達 <input type="checkbox"/> 自立・自律支援 <input type="checkbox"/> 個人・グループ・機関との調整 <input type="checkbox"/> ケアネットワークづくり <input type="checkbox"/> サポートシステムの構築 <input type="checkbox"/> 地域組織活動 <input type="checkbox"/> 地域ケアの体制づくり <input type="checkbox"/> 健康危機発生時の緊急対応 <input type="checkbox"/> 心的外傷後ストレス障害 <input type="checkbox"/> 災害看護活動 <input type="checkbox"/> 被災者に対する安全な環境	<input type="checkbox"/> 地域で活動する多様な集団やNPOなどの組織、及びそれらの活動について理解できる。 <input type="checkbox"/> ケアのネットワーク、サポートシステムの構築の方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 看護の対象に必要なケアについて、関連機関や支援者と連携・調整する方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 地域の健康を促進し、管理する方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 当事者グループの集団の特質や機能について理解できる。 <input type="checkbox"/> 地域における組織や当事者グループを看護専門職者として育成し、支援する意義や方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 地域における日常的な健康危機管理の重要性と看護の活動・役割について理解できる。 <input type="checkbox"/> 健康危機発生後に生じる健康課題と看護活動の在り方について理解できる。 <input type="checkbox"/> 被災者及び被災集団への災害看護活動の在り方について理解できる。
	16) 安全なケア環境を提供する能力	<p>(1) 安全なケアをチームとして組織的に提供する意義について説明できる。</p> <p>(2) 感染防止対策について理解し、必要な行動をとることができる。</p> <p>(3) 医療事故防止対策について理解し、そのために必要な行動をとることができる。</p>	<input type="checkbox"/> リスク・マネジメント <input type="checkbox"/> 安全文化の形成 <input type="checkbox"/> 安全性の基準 <input type="checkbox"/> 医療事故の現状と課題 <input type="checkbox"/> 医療安全対策 <input type="checkbox"/> 医療器具・医薬品管理の安全対策 <input type="checkbox"/> 感染防止対策 <input type="checkbox"/> スタンダードプリコーション <input type="checkbox"/> 有害事象の予防（転倒・転落などの事故、褥瘡など） <input type="checkbox"/> 医療による健康被害（薬害を含む）	<input type="checkbox"/> リスク・マネジメント、有害事象（転倒・転落などの事故、褥瘡など）の予防方法について説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療の中で安全文化を形成し、チームとして取り組むことの意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 医療安全対策など医療機関の取り組みと看護の活動・役割について説明できる。 <input type="checkbox"/> 安全を脅かす要因、及び医療器具・医薬品の安全な管理、安全な医療環境を形成していく意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 感染防止対策、スタンダードプリコーションについて理解し、実施することができる。 <input type="checkbox"/> 医療事故の予防と発生時対応、発生後の分析と評価について説明できる。

	<p>17) 保健医療福祉における協働と連携する能力</p>	<p>(1) チーム医療における看護及び他職種の役割を理解し、看護の対象を中心とした協働の在り方について説明できる。</p> <p>(2) 保健医療福祉サービスの継続性を保障するためにチーム間の連携について説明できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>チーム医療</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療保健福祉チーム員の専門性と相互の尊重</p> <p><input type="checkbox"/>チームの中での看護専門職の役割</p> <p><input type="checkbox"/>リーダーシップとフォロワーシップ</p> <p><input type="checkbox"/>アサーション</p> <p><input type="checkbox"/>カンファレンスの運営方法</p> <p><input type="checkbox"/>情報の共有と守秘義務</p> <p><input type="checkbox"/>継続看護</p> <p><input type="checkbox"/>在宅医療と社会制度</p> <p><input type="checkbox"/>在宅医療推進と看護活動</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療福祉機関の連携・協働</p> <p><input type="checkbox"/>ケアマネジメント</p> <p><input type="checkbox"/>家族を含めた看護の対象中心の連携</p> <p><input type="checkbox"/>退院支援・退院調整</p> <p><input type="checkbox"/>地域包括支援センターとの連携</p> <p><input type="checkbox"/>訪問看護ステーションとの連携</p> <p><input type="checkbox"/>地域保健・産業保健・学校保健との連携</p>	<p><input type="checkbox"/>チーム医療、保健医療福祉チーム員の機能と専門性、チーム医療の中での看護の役割について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>チーム医療の中での責務として、情報の共有と守秘義務、看護の対象を中心とするチーム医療の構築方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>チーム医療の中での、相互の尊重・連携・協働について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>チーム医療の中で効果的な話し合いをするための方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>在宅医療を推進するために、保健医療福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>ケアマネジメントやチームの連携方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>継続看護、退院支援・退院調整など、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>病院、保健所、市町村保健センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、診療所、学校、職場などとの連携の必要性について説明できる。</p>
	<p>18) 社会の動向を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力</p>	<p>(1) 疾病構造の変遷、疾病対策、医療対策の動向と看護の役割について説明できる。</p> <p>(2) 社会の変革の方向を理解し、看護を発展させていくことの重要性について説明できる。</p> <p>(3) グローバリゼーション・国際化の動向における看護の在り方について理解できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>人口構成と疾病構造</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療福祉の歴史と看護</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療福祉に関する基本的統計</p> <p><input type="checkbox"/>保健統計や歴史を踏まえた看護の展望</p> <p><input type="checkbox"/>看護行政と看護制度</p> <p><input type="checkbox"/>医療保険制度</p> <p><input type="checkbox"/>診療報酬制度</p> <p><input type="checkbox"/>国際看護活動</p> <p><input type="checkbox"/>グローバリゼーション・国際化の動向</p> <p><input type="checkbox"/>看護職としての発展の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>人口構成と疾病構造、保健医療福祉に関する基本的統計から、健康や保健医療にかかわる課題について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>保健医療福祉制度、保健医療福祉政策の歴史などから、看護の現状と動向を説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>社会政策や看護政策が看護の発展に影響を及ぼしてきたことを説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>保健師助産師看護師法、医療法及び関連する法律と看護実践との関連について説明できる。</p> <p><input type="checkbox"/>グローバリゼーション、国際化の中での国際看護活動の意義について理解できる。</p> <p><input type="checkbox"/>看護職の発展の方向性について自分なりの意見を持つことができる。</p>

看護実践能力		卒業時の到達目標	教育の内容	学習成果
群	能力			
V 専門職者として研鑽し続ける基本能力	19) 生涯にわたり専門性を発展させる能力	<p>(1) 日々の自己の看護を振り返り、自己の課題に取り組む重要性について説明できる。</p> <p>(2) 専門職として生涯にわたり学習し続け、成長していくために自己を評価し管理していく重要性について説明できる。</p>	<input type="checkbox"/> リフレクションの方法 <input type="checkbox"/> 自己洞察 <input type="checkbox"/> 役割モデルの活用 <input type="checkbox"/> 批判的分析力 <input type="checkbox"/> 論理的思考 <input type="checkbox"/> 情報リテラシー（情報活用力） <input type="checkbox"/> 研究方法の活用 <input type="checkbox"/> キャリアマネジメント <input type="checkbox"/> 生涯学習とその機会 <input type="checkbox"/> 自己教育力	<input type="checkbox"/> 自己の看護の向上に向けて、看護の振り返りや自己洞察の重要性について説明できる。 <input type="checkbox"/> 専門職としての成長に必要な批判的分析力、論理的思考力の意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護の課題を解決するために、情報リテラシー（情報活用力）を活用することができる。 <input type="checkbox"/> 専門職としてのキャリア発達の過程や生涯学習の意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 専門職としての自己管理や自己主張の意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 長期的展望に立ち自己学習計画をもつ意義について説明できる。 <input type="checkbox"/> 自己学習や自己教育力が専門職には重要な要件であることを説明できる。
	20) 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力	<p>(1) 看護専門職の専門性を発展させていく重要性について説明できる。</p>	<input type="checkbox"/> 看護の定義とその歴史 <input type="checkbox"/> 看護学の歴史と発展過程 <input type="checkbox"/> 医療の歴史 <input type="checkbox"/> プロフェッショナリズム <input type="checkbox"/> 看護職能団体とその活用 <input type="checkbox"/> 看護政策 <input type="checkbox"/> 保健師助産師看護師法 <input type="checkbox"/> 看護実践の範囲・資格・法律 <input type="checkbox"/> 看護実践と研究の連動と発展	<input type="checkbox"/> 科学の発展や社会の動向から影響を受けて、看護学が発展してきたことについて説明できる。 <input type="checkbox"/> 看護実践と看護研究の連動を理解し、研究が看護学の実践に果たす役割について説明できる。 <input type="checkbox"/> 社会政策や看護政策が看護学の実践に影響を及ぼしてきたことについて理解できる。 <input type="checkbox"/> 看護の専門性や価値について、自分なりの意見を持つことができる。 <input type="checkbox"/> さらに発展が求められる看護の専門性について、自分なりの意見を持つことができる。

## 別添2

看護実践能力の比較:H16年報告書と本研究班の原案(H22年)

H16年報告書

1群 ヒューマンケアの基本に関する実践能力
1 人の尊厳の重視と人権の擁護を基本に据えた援助行動
2 利用者の意思決定を支える援助
3 多様な年代や立場の人との援助的人間関係の形成

II群 看護の計画的な展開能力
4 看護の計画立案・実施・評価の展開
5 人の成長発達段階・健康レベルの看護アセスメント
6 生活共同体における健康生活の看護アセスメント
7 看護の基本技術の適確な実施

III群 特定の健康問題を持つ人への実践能力
8 健康の保持増進と健康障害の予防に向けた支援
9 次代を育むための援助
10 慢性的疾病を持つ人への療養生活支援
11 治療過程・回復過程にある人への援助
12 健康の危機的状況にある人への援助
13 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援
14 終末期にある人への援助

IV群 ケア環境とチーム体制整備能力
15 地域ケア体制の充実に向けた看護の機能
16 看護職チーム・保健・医療・福祉チームでの協働・連携
17 ヘルスケア提供組織の中での看護の展開

V群 実践の中で研鑽する基本能力
18 看護実践充実にかかわる研究成果の収集と実践への応用
19 看護実践を重ねる過程で専門性を深める方法の修得

本研究班の看護実践能力

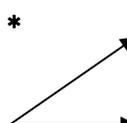
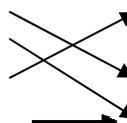
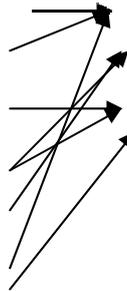
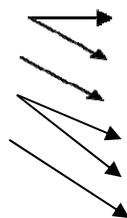
I ヒューマンケアの基本に関する実践能力
1)看護の対象の尊厳と権利を擁護する能力
2)実施する看護について説明し同意を得る能力
3)援助関係を形成する能力

II 根拠に基づき看護を計画的に展開する実践能力
4)根拠に基づいた看護を提供する能力
5)計画的に看護を展開する能力
6)健康レベルを成長発達に応じてアセスメントする能力
7)個人と家族の生活をアセスメントする能力
8)地域の特性と健康課題をアセスメントする能力
9)看護援助技術を適切に実施する能力

III 特定の健康課題に対応する実践能力
10)健康の保持増進と疾病を予防する能力
11)急激な健康破綻と回復過程にある看護の対象を援助する能力
12)慢性疾患及び慢性的な健康課題を有する看護の対象を援助する能力
13)終末期にある看護の対象を援助する能力

IV ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力
14)保健医療福祉における看護機能と看護ケアを改善する能力
15)地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力
16)安全なケア環境を提供する能力
17)保健医療福祉における協働と連携する能力
18)社会の動向を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

V 専門職者として研鑽し続ける基本能力
19)生涯にわたり専門性を発展させる能力
20)看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力



\* はモデル・コア・カリキュラム案II-4、IV-18へ

別添 3 第四次書面調査 日本看護系大学協議会の全会員校を対象  
 (2010年8月25日締め切り)  
 121校の参加

全体に対する意見

- \*看護学のコアカリキュラムを作成する場合は、随時改訂がなされることが必要であり、そのようなシステムを構築することが必要である。
- \*基本的には、各々の大学における独自性を活かせることが大切であると考えています。細かくし過ぎることの危険性と、そうしなければ安心できない私たちの習性を感じます。
- \*全体的に見て適切な内容と思います。内容のウェイトにおいては、各大学の独自性でいいと思います。大学教育において、これらの内容を提示することは看護学教育を行っている大学だけでなく他の学問領域にアピールできるものと思います。
- \*項目ごとに拝見してすべての内容も含めてこれで結構かと存じます。教育内容としては些か高い標準、過密な印象ではあります。
- \*具体的に学習成果が示されており、評価しやすいと考えます。
- \*コアとなるのはここに掲げてある「看護実践能力」であり教育の内容は“例示”に過ぎないと思います。そうでないと各大学の工夫が困難となります。
- \*実践に関して「現実に体験が難しい部分」「実習の受け入れが困難」を理由にレベルを下げることは早計と思われます。各大学の教育理念や目標に照らして表現を変えればよいと思います。

20の看護実践能力の適切性について

大変よい	25校
よい	84校
どちらともいえない	5校
よくない	1校
非常によくない	1校

卒業時到達目標の適切性について

大変よい	20校
よい	77校
どちらともいえない	15校
よくない	4校
非常によくない	0校

教育の内容の適切性について

大変よい	19校
よい	83校
どちらともいえない	12校
よくない	1校
非常によくない	1校

学習成果の適切性について

大変よい	42校
よい	58校
どちらともいえない	13校
よくない	3校
非常によくない	0校

## 別添 4

### 看護管理者からのヒアリング

国立大学附属病院、 看護部長 4名 副看護部長 2名  
私立大学附属病院 看護部長 1名  
県立病院 看護部長 2名  
私立病院 看護部長 5名

- ◆20 看護実践能力について
- ◆卒業時の到達目標について
- ◆期待する学習成果と実践との関連について
- ◆大学卒業時の「学習成果」として、臨床側からみでの妥当性について
- ◆看護実践能力を育てるために臨床と大学の連携について